

スズキ、鈴鹿 8 時間耐久ロードレースを チームスズキで協力一致し完走



8 月 1 日（金）から 3 日（日）に三重県鈴鹿サーキットで開催された「2025 FIM^{※1} 世界耐久選手権"コカ・コーラ" 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 46 回大会」において、「チームスズキ CN チャレンジ」がアクシデントをチームスズキ全員で乗り越え、33 位で完走しました。

今回、100%サステナブル燃料^{※2}をはじめとする更なる環境負荷低減を目指したサステナブルアイテムを採用した「チームスズキ CN チャレンジ」は、予選順位 12 番手から決勝レースのグリッドをスタートし、序盤から着実に周回を重ね、3 時間経過時点では 6 位にまで順位を上げ、一時は 4 位につけていましたが、102 周目に転倒を喫し、ピットインを余儀なくされました。メカニックを含めライダー以外は全員社内公募のスズキ社員で構成されたチームによる修復は一筋縄ではいきませんでしたでしたが、チームスズキは誰一人諦めることなく協力一致し、約 1 時間後に無事修復を終え、レースに復帰することができました。ピットアウト時にはチーム全員が拍手でライダーを送り出し、33 位で完走することができました。

また、スズキの GSX-R1000R で世界耐久選手権に参戦している YOSHIMURA SERT MOTUL は 2 年連続の 3 位表彰台を獲得しました。

代表取締役社長 鈴木俊宏のコメント

カーボンニュートラル社会の実現に向けた当社の二輪レース活動に対し、熱いご声援を頂きました多くのスズキファンの皆様、また、多方面からご支援・ご協力頂きました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今回はアクシデントに見舞われましたが、トラブルがチームを一つにまとめ、通常では得られない経験を積むことができました。一人ひとりの宝物になったと思います。今後もこの活動を通じて環境性能技術を磨き上げ、チームスズキで社会とお客様の期待に応えることを目指してまいります。

※1 FIM（国際モーターサイクリズム連盟）

※2 EU 公認の認証機関により適用されるマสบバランスシステムに基づき認証された 100%サステナブル製品